

今日、9月9日は、「9（きゅう）9（きゅう）」の語呂合わせから、「救急の日」です。昭和57年（1982年）に厚生労働省によって定められました。以来、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的としています。

そこで、子どもの救急医療で一番多い原因は何かと思い、調べてみました。消防庁資料「救急自動車による子供の事故搬送状況」を見てみると、過去10年間（平成18年～平成27年）の18歳未満の「一般負傷」による救急搬送人員は10万人程度で推移していて、その中でも乳幼児が高い割合になっていました。乳幼児の事故種別では「一般負傷（転倒等）」の割合が他の世代に比べて高くなっています。これらの資料は、こちらから見るができます。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/children_accident_prevention/pdf/children_accident_prevention_171031_0006.pdf

その「一般負傷」の発生事例は多い順に、

第1位「ころぶ」 第2位「おちる」 第3位「たべる」 第4位「ひっかける」 第5位「ぶつかる」 第6位「やけど」 第7位「はさむ」 第8位「きる」 第9位「ささる」 第10位「おぼれる」となっています。これらのことが「おうちではキケンがいっぱい」という消防庁が作成したリーフレットにまとめられているものが、こちらから見るができます。上記の他にも危険な事例がたくさんあり、それらを見ることもできます。

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post4.html>

また、岩手県では、「こども救急ガイドブック」というものを作成していて、こちらから見るができます。

https://www.pref.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/028/106/kodomobook5fun.pdf

コロナ禍でおうち時間が増える今日この頃、子どもと過ごす時間が増え、おうちの中のキケンにも気を付けていかなければなりませんね。また、子どもと過ごす時間が多くなっていることで、子育てに関する相談も増えています。一人で抱え込まず、子育てのご相談は下記でお待ちしています。

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★